手稲の風と共に

発行 令和2年3月19日 北海道札幌手稲高等学校







新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月1日(日)に予定していた第44期生の卒業証書授与式を1日延期して3月2日(月)に挙行しました。当日は感染防止対策として来賓・保護者の皆さまの出席をご遠慮いただき、在校生も参加を控えた中、卒業生と教職員のみで本校体育館にて実施しました。また、今回は所要時間を短縮するために式次第を大幅に見直しました。時間が短くなっても卒業生にとって思い出深い式となるよう創意工夫を図り、教職員が卒業生のために一丸となって準備を進めました。無事に卒業式を挙行することができて安堵しています。第44期生313名の今後の活躍を期待しています。

※学校ウェスページに卒業式の様子を掲載しています。 http://www.teine-h.hokkaido-c.ed.jp













令和元年度学校経営シラバス評価



今年度の学校経営シラバスに対する自己評価を実施しました。結果は次のとおりとなっていますのでお知らせします。

評価 4 ほぼ達成している 3 半分程度達成している 2 一部達成している 1 ほぼ(全く)達成していない

第2					
少部指導	領域	対 象	今年度の目標	取組の具体(評価観点)	評価
2 回新学部海豊原、高大接続改革を見通して教育 最新の情報を元に教育程程発見含で検討を行い、その進捗状況 選接を編成する。			(1)各年次の生徒に対応した指導方法と評価方法に		3.2
選担を構成する。		学習指導	ついて研究する。	価方法について)実施する。 	
11 講演会などの情報症性を適切に行う。			(2)新学習指導要領、高大接続改革を見通して教育	・最新の情報を元に教育課程委員会で検討を行い、その進捗状況	3.3
2 2 3 3 3 3 3 3 3 3				を学校全体に発信して共通理解を得る。	
類にする。			(1)講演会などの情報提供を適切に行う。	・生徒の進路希望を達成する。	
1)生徒の興味関心や適性を踏まえた科目選択を実 生徒や保護者へ十分な説明を行い、適切な科目選択指導を実施 3.7		進路指導	(2)講習体制について検証を実施し、今後の検討課	・ 進路目標達成のために、講習計画や講演会・情報提供等を適切に	3.6
### 111年徒の興味関心や適性を踏まえた料目選択を実 生徒や保護者へ十分な説明を行い、適切な科目選択指導を実施 する。	教		題とする。		
# マリア				・他の分掌とも協力し「手稲高校進路シラバス」を完成する。	
カイダンス			(1)生徒の興味関心や適性を踏まえた科目選択を実	・生徒や保護者へ十分な説明を行い、適切な科目選択指導を実施	3.7
力を育成する。		キャリア		1	
(1) 社会生活における規範意識を高揚させ、主体的	育	ガイダンス	(2)課題解決学習を通じて、生徒に必要な様々な能	生徒の進路意識・学習意欲の向上を図る。	3.4
			力を育成する。	・分掌・年次・教科間および外部関係機関との緊密な連携を図る。	3.5
生徒指導			(1)社会生活における規範意識を高揚させ、主体的	・規範意識啓発のため通信等を発行して、社会生活や集団生活の	
(2)学校生活における自分の立場を理解させ、他と ・生徒が自己と他を尊重する心を醸成し、いじめアンケートでの 3.4 発生件数ゼロをめざす。 3.5 発生件数ゼロをめざす。 4.6 別活動を通じ、生徒の意識・意欲を高め人間的な成長を促進で 5.5 元美した活動になるよう対長が支援する。 5.6 元美した活動になるよう対長が支援する。 6.2 名分学との連携により、生徒の人間的 成長に寄与する。 (1)特別支援教育に係る情報を数多く先生方へ提供 する。 1.6 対象相談通信の発行等により特別支援教育に係る情報を先生方 3.2 小提供する。 2.3 といまして、対象目間及び 学校・家庭・スクールカウンセラー等と密に連携し、計画的な相談 活動を行う。 (1)学校だよりの編集・発行とWebページ活用を戦 1.5 種的に行う。 1.5 種の風と共に」で本校の取組をパランス良く紹介し、Webペ 3.2 学校づくり (2)地域の人材・行事等を積極的に活用し、学校アビ 1.2 地域人材を活用した講話や講座、各種施設等での生徒のボラン 3.6 ディア活動を充実し、情報発信する。 3.6 が表した課題の改善策を検討する。 3.6 が表した課題の改善策を検討する。 3.6 が表した課題の改善策を検討する。 3.7 が表した課題の改善策について検証し、課題を組織的に 解決する。 3.6 が表した課題の改善策について検証し、課題を組織的に 解決する。 3.6 が表した課題の改善策について検証し、課題を組織的に 第次する。 2.6 対象両の 2.7 が表見した課題の改善策について検証し、課題を組織的に 2.7 が表見した課題の改善策について検証のは善策を検討する。 3.5 が表しました。 3.5 が表し			行動と態度を育成する。	なかでのマナーや情報モラルを向上させ、ネットトラブルを防止	3.1
### からいます	活	生徒指導		_ する。 	
特別活動			(2)学校生活における自分の立場を理解させ、他と	・生徒が自己と他を尊重する心を醸成し、いじめアンケートでの	3.4
特別活動 接助する。 さる充実した活動となるよう教員が支援する。 2)各年次・各分学との連携により、生徒の人間的 成長に寄与する。 (1)特別支援教育に係る情報を数多く先生方へ提供 教育相談通信の発行等により特別支援教育に係る情報を先生方 3.2			の協調性を養う。	発生件数ゼロをめざす。	
(2)各年次・各分学との連携により、生徒の人間的 成長に寄与する。			(1)生徒の自主性を尊重し、活発な活動となるよう	・特別活動を通じ、生徒の意識・意欲を高め人間的な成長を促進で	3.5
成長に寄与する。	動	特別活動	援助する。	きる充実した活動となるよう教員が支援する。	
(1)特別支援教育に係る情報を数多く先生方へ提供 する。			(2)各年次・各分掌との連携により、生徒の人間的	・各年次·各分掌と連携し、各年次における活動の目的が達成され	3.4
### は できる。			成長に寄与する。	るよう支援する。	
指導 (2)SCやSSW等、専門機関との連携を密にした 相談体制を充実する。 ・教育的な配慮や支援等を必要とする生徒について、教員間及び 学校・家庭・スクールカウンセラー等と密に連携し、計画的な相談 3.6 活動を行う。 ・「手稲の風と共に」で本校の取組をバランス良く紹介し、Webペ 3.2 一ジでは即時性の高い情報を発信する。 ・ジでは即時性の高い情報を発信する。 ・がは人材を活用した講話や講座、各種施設等での生徒のボラン 3.6 一ルにつなげる。 ・新たに発見した課題の改善策を検討する。 ・新たに発見した課題の改善策を検討する。 ・新たに発見した課題の改善策を付款する。 ・新たに発見した課題の改善策について検証し、課題を組織的に 解決する。 ・学校と賞シラバスに基づく評価や学校評価を工夫し、改善サイルの効率を高める。 ・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実する。 ・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実する。 ・特別支援教育についての研修体制を確立する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1 3.1			(1)特別支援教育に係る情報を数多く先生方へ提供	・教育相談通信の発行等により特別支援教育に係る情報を先生方	3.2
### おおおおきである。		健康·安全	_ する。	へ提供する。	
活動を行う。		指 導	(2)SCやSSW等、専門機関との連携を密にした	・教育的な配慮や支援等を必要とする生徒について、教員間及び	
(1)学校だよりの編集・発行とWebページ活用を戦			相談体制を充実する。	学校・家庭・スクールカウンセラー等と密に連携し、計画的な相談	3.6
信頼される 略的に行う。				活動を行う。	
学校づくり (2)地域の人材・行事等を積極的に活用し、学校アピールにつなげる。 ・地域人材を活用した講話や講座、各種施設等での生徒のボランティア活動を充実し、情報発信する。 3.0 校 組織運営 ・新たに発見した課題の改善策について検証し、課題を組織的に解決する。 3.0 経 (2)学校評価の仕組を改善し、マネジメントサイクルの効率を高める。 ・学校経営シラバスに基づく評価や学校評価を工夫し、改善サイクルを向上させる。 3.1 営 (1)校内研修や視察研修を充実する。 ・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実する。 3.5 営 (2)特別支援教育についての研修体制を確立する。(3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。 3.1 ・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止 3.5			(1)学校だよりの編集·発行とWebページ活用を戦	・「手稲の風と共に」で本校の取組をバランス良く紹介し、Webペ	3.2
学 ールにつなげる。 ティア活動を充実し、情報発信する。 3.0 校 組織運営 ・新たに発見した課題の改善策について検証し、課題を組織的に解決する。 3.0 経 ルの効率を高める。 ・学校経営シラバスに基づく評価や学校評価を工夫し、改善サイクルを向上させる。 3.1 営 教職員の資質向上 ・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実する。 3.5 営 (2)特別支援教育についての研修体制を確立する。(3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。 3.1 ・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止 3.5				1	.
(1)新たに発見した課題の改善策を検討する。		学校づくり	(2)地域の人材・行事等を積極的に活用し、学校アピ	・地域人材を活用した講話や講座、各種施設等での生徒のボラン	3.0
投 投 投 投 投 投 投 投 投 投	学				
(2)学校評価の仕組を改善し、マネジメントサイク ・学校経営シラバスに基づく評価や学校評価を工夫し、改善サイ カルの効率を高める。 クルを向上させる。 (1)校内研修や視察研修を充実する。 ・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実する。 する。 (2)特別支援教育についての研修体制を確立する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。 3.1 (3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。 ・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止 3.5			(1)新たに発見した課題の改善策を検討する。	・新たに発見した課題の改善策について検証し、課題を組織的に	3.0
経	校	組織運営		解決する。	
(1)校内研修や視察研修を充実する。			(2)学校評価の仕組を改善し、マネジメントサイク	・学校経営シラバスに基づく評価や学校評価を工夫し、改善サイ	3.1
対職員の する。 する。 20 特別支援教育についての研修体制を確立する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。 3.1 3.5	経		ルの効率を高める。	クルを向上させる。	
資質向上(2)特別支援教育についての研修体制を確立する。 ・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。(3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止3.5			(1)校内研修や視察研修を充実する。	・学校改善、授業改善に向けての校内研修や校外視察研修を充実	3.5
(3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。 ・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止 3.5	営	教職員の			
107 Maria 107 V 108 Maria 107 Maria		資質向上	(2)特別支援教育についての研修体制を確立する。	・特別支援スーパーバイザーによる校内研修を実施する。	3.1
する。			(3)服務規律遵守について確実に意識啓発する。	・研修や啓発の呼びかけを定期的に行い、事故発生を未然に防止	3.5
				する。	

【广油終】

コロナウイルス感染症予防のために3 月21日(土)に開催予定の発表会・演奏会が延期や中止せざるを得ない状況となりました。ここに謹んでお詫び申し上げます。

- ★ダンス同好会校外発表会(西区民センター)
- → 5月17日(日)へ延期
- 月21日(土)に開催予定の発表会・演│★吹奏楽部第18回定期演奏会(教育文化会館大ホール)
 - → 8月12日(水)へ延期
 - ★合唱部第33回定期演奏会(ちえりあホール)
 - → 残念ですが中止します

